

自動販売機もチェック

←がんばっとるか〜

色いヤツ→近頃は美観を損なうとかいって目立たずひっそり、とうとう弱視の人にも無意味になろうとしているヤツですよ)を測定。

簡単そうに思うでしょ?ところがドッコイ、人混みの中で長いメジャーをブロック沿いに渡して、その目盛りをチェック。蹴られる、踏まれる、つかれる。なかなか気合いだけではできないものではないのです。それに駅平面図などと気のきいたものも、この時点、入手できていなかったもので、記録するのも大騒動!すったもんだで日が暮れる。

と、苦しみばかりじゃ^{バンガード}VANGUARD!じゃない。「ありゃ、何だここ・・・」、「ねえねえ、こんなのみい〜つけたあ」駅構内は秘密の花園、穴場の宝庫。ねえねえ、知りたい?知りたいでしょ?でも言わなあ〜いッ!

(春現在、こののりで見つけたお店(車いす可・旨い・安い・etc)などなどタウン・マップも作れちゃうかもヨ〜ンッ!いずれは盲導犬や車いすでの利用の調査も是非VANGでやりたいなあ。)

回を重ねていく中で、人との出逢いもあるのですヨン!酔っぱらいのオッチちゃんが「兄ちゃんら、忙しそうやなあ?なあなあ・・・、道聞きたいねんけど」。道を聞かれたのはこのオッチちゃんが最初だったかなあ?近頃では、この春配属されたての駅員さんや新入社員なんかより確実に、ホーム、お手洗い、公衆電話に至っては何処にどの種類の、ここからなら何処が一番すいているなどとINFOできてしまうし、何だか気軽に訪ねられてもしまふ今日この頃。駅の中でとりわけ目立ちもするだろうし、なんだか調査をしているメンバーも自信というか・・・それに駅員さんよりは聞き易いのかもね?

道先案内してるだけじゃないよ。VANGのみんなが調査をしているメジャーを覗き込んで、「へえ〜ッ!ジャスト30cmやねんなあ?」「こんなホンマに役にたってんのかあ?」「何してんのお?ああ本当、頑張ってるねえ」と乗降客との自然な関わりがとっても嬉しい。



全員集合

格段に調査を変えたのがこの日、JR大阪駅構内図の入手！あれやこれやと試行錯誤を続けながらの調査、何時もみんなの口をつくのが「駅の平面図があればねえ」、その平面図が報道関係者のご協力で入手できたのですから大変革。

これを期に、断然スピードアップ、構内の誘導ブロックの測定・書き込み、公衆電話や売店、券売機と次々にデータが蓄積。前日の調査ではとうとうホームへと進撃したのですヨンッ！

しかし、ここからが本当の勝負なのかも？駅を利用するのに一番危険と背中合わせ。今だに聞きます「視覚障害者、ホームから転落！」。ご多分に漏れず私め、亀山も落ちてます。天候の具合や人の混み具合、もちろん個人の体調も、そんな中でフツとしたことで方向が分からなくなる、思いこんでしまう、というのは日常！混みあった駅ホームでは殆どの利用客が白杖などには気付いてくれない。

実際の調査でも思っていた以上にホームは大変！あれやこれやと障害物が……。それに何より知りたい列車の停車位置が私たちの力だけでは調査は無理。これから調査は他の交通機関にも進もうとしています。なんとか各関係機関のご理解・ご協力を頂きたい！目の見えない者も一人の利用客として受けとめて下さい。一緒に変えていきましょう！

もしかすると本当にとんでもなく果てしのないものに挑んでいるのかも？ぐったりする時、自分

の無力に寂しくなる時も正直あります。でも、でも、だってここまで来たのだから、みんな頑張ろうねえ、もっとたくさん素敵を見つけて楽しもう。次回皆さんに報告する機会がありましたら、その時は「こんなに素敵なマップが完成しました」と是非報告したいと思います。これからもVANG、Dash！一発！！ステップ・アップし続けます。応援してください。

プロップ・ステーション

視覚障害部VANGUARD!代表 亀山 英昭

支援金のお願い！

VANGUARD!は皆さんの支援金に支えられて活動・運営を行っています。新年度を迎え、VANGの活動主旨にご賛同頂ける皆様にご協力をお願いしております。是非ご理解のもと支援金のご協力をお願い致します。なお、5月から郵便振替口座番号が変更になりました。新番号は、

郵便振替口座 01100-1-73942

加入者名 バンガード

です。

プロップ・ネットの話題から

'94/5 Version

うめ吉



当初は連載にする予定はなかったのに、ついに3回目になってしまった（地の声：計画通りとちゃうんか？）。それというのも、昨年末にHOST（プロップ・ネットではSystem OperatorのことをHOSTと呼んでいる）のmochaさんが多忙の為急死され（地の声：まだ生きとるがな）、失礼、HOSTを辞められ、急遽うめ吉が後任を承ったので、FLANKERになんも書かないわけにはいかなかったという次第です。

まず、第一の話題は、1月22日（土）から23日（日）にかけてプロップ・ネットのリニューアルです。当初は、ハード面のグレード・アップをはかることを目的として昨年11月より準備を重ねてきましたが、ボードやライブラリを使いやすいように改変してほしいという要望もあり、ハードのグレード・アップと同時にメニューの改変も行うことにしました。

1月22日（土）正午にマシンを停止して、新しいマシンをセット・アップ。ホスト・プログラムをバージョン・アップしてデータを移した後、高速モデムのテスト。1月23日（日）、ボード、ユーザ・ボード、ライブラリを統廃合、各種メッセージの書き換えのあと、アクセス・テストをやって完了。当日は、hidebohzさん、たにごん、ちよきさん、たんたんたぬきさん、Ma_さん等のプロップ・ネットのユーザ（地の声：これを機に

引き摺り込まれた人もおるんちゃうんか？）の御協力があり、プロップ・ステーションからは、KIIJやん、お金持ちのすずき、ナミねえ、うめ吉が参加しました。

ハード面の目玉は、ホスト機として高速のマシンを導入したほか、モデムを1,200~14,400bps対応に変え、回線も2回線に増やしました。

メニュー関係は大幅に見直しました。

まずは、ボード関係は以下のようになりました。

No. Board Name	Board Operator
01.フリートーク	PRP001 HOST
02.書き込み練習	PRP001 HOST
03.なんでも訊いて！	PRP001 HOST
04.アイデア企画室	PRP005 ナミねえ
11. Prop Netの使い方	PRP001 HOST
12. Propからのお知らせ	PRP005 ナミねえ
13.売り・買い・譲ります	PRP001 HOST
14.なんでも福祉情報	PRP001 HOST
15.障害者求人・求職情報	PRP005 ナミねえ
21. PropNet言いたい放題	PRP001 HOST
22. FLANKER言いたい放題	PRP007 げんた
23. セミナールーム for MAC	PRP012 榊原
24. セミナールーム for 98	PRP006 すずきしげあき
25. VANGUARD(視覚障害部)	PRP014 みゅう
26. 曾我部先生とコンピュータ	PRP018 tamagawa
27. 企業市民の部屋	PRP005 ナミねえ
31. パソコン初心者Q&A	PRP001 HOST
32. パソコン通信講座	PRP065 あ〜ん
33. Macの部屋	PRP017 セブン
34. 98の部屋	PRP006 すずきしげあき
35. IBM PC/AT互換機room	PRP065 あ〜ん
36. WINDOWSの部屋	PRP016 KIIJ
40. J31,X68,TOWNS等	PRP001 HOST

1~4は初心者でも書き込みやすいトークを中心としたボードを集めました。4の「アイデア企画室」では、プロップ・ステーションの活動に対するアイデアやオフミ (Off-Line Meeting) の企画等の意見が書けるようにしました。11~15は、掲示板を集めてみました。14の「なんでも福祉情報」は、既存の「福祉機器情報」と「あちこち新聞情報」を統合して、福祉関係の情報を流せるようにしました。21~27は、プロップ・ステーションの活動に関するボードを集めてみました。それぞれの活動メンバーのフリー・トークやメンバーへの連絡ボードとしても使えるようにしました。31~40はパソコン利用者のSIGを集めてみました。

次に、ユーザ・ボードですが、内容を考慮してボードへ編入された3ボード「曾我部先生とコンピュータ」「通信講座」「Prop Netのこれから」意外は継続中です。新設は、「065 悪魔の用語編纂室」と「077 MIURA」です。「悪魔の用語編纂室」はプロップ・ネットの専門用語をみんなでヨッテタカッテ解説しているプロップ・ネット広辞苑とでもいいでしょうか。かわりだねが「MIURA」。これは、施設入居中の Board Operator が、施設長にパソコン通信の良さを知ってもらって自分の部屋に専用電話回線を引いてもらうための情報収集をするアンテナ・ボードだったりするわけです。さて、「124 音楽ごっこしようよ」では、企業から寄付していただいた音楽ソフトをユーザに配付してオンラインでの音楽講座がスタートしようとしています。このように、ユーザがつくるユーザ・ボードは運営者が考えている以上に自由な発想で発展していくようです。

No. User Board Name	Board Operator
002.Office I D E E N	mocha
010.Access はまころいす	うめ吉
019.お騒がせボード	KEN
065.悪魔の用語編纂室	あ〜ん
077.M I U R A	三浦
089.ぷろっぷ座	京愛
118.おもしろ瓦版(^_^)	かけちゃん
124.音楽ごっこしようよ	ADACHI
155.なんだか考える(^_^)	たにごん

ライブラリは以下のようにになりました。

No. Libraryネーム	Library Operator
01.Down/UP Loadの説明	PRP001 H O S T
02.Prop-Net 便利Tool	PRP001 H O S T
03.通信ソフト (全機種)	PRP065 あ〜ん
04.通信周辺Tool(全機種)	PRP065 あ〜ん
05.M a cintosh	PRP017 セブン
06.P C-9 8	PRP006 すずきしげあき
07.W i n.dows	PRP016 K I J I
08.D O S / V	PRP065 あ〜ん
09.MS-DOS汎用	PRP006 すずきしげあき
20.X68,J31,Townsその他	
21.画像 Tool	
22.画像 Data	
23.音楽 Tool	PRP124 ADACHI
24.音楽 Data/MIDI	PRP124 ADACHI
25.音楽 Data/試作版	PRP124 ADACHI
26.視覚障害者用 Tools	
29.FREE DATA	
30.ソフトの教室	PRP065 あ〜ん
31.バイナリ伝言板	
35.なんでも福祉情報	
36.VANGUARD(視覚障害部)	
41.Board Msg 展示室	PRP003 クロベ
42.User Board展示室	
43.FLANKER 点字版 書庫	

初心者でも分かりやすいように、「Prop-Net 便利Tool」のコーナーを設けました。画像と音楽関係は煩雑になりやすいので別にライブラリを作りました。また、白書や条文などの巨大なテキストを収納するために「FREE DATA」のコーナーを新設、バイナリ・メール交換用のバイナリ伝言板も残しました。ボードやユーザ・ボードの過去のメッセージを集録した展示室も新設しました。各ボード&ライブラリには Operator を設け、コーディネートしていただくとともに不良メッセージの削除等をお願いすることにしました。

新制プロップ・ネットになったといっても中身が変わったわけではありません。今まで通り様々な立場の人達が様々な意見を述べあうネットです。そして、その基本は、障害者と健常者が一緒になって、コンピュータを媒介にした障害者の就労促進を目指すことです。では。

(うめ吉=HOST)

プロップ・ネット・ユーザー通信環境調査

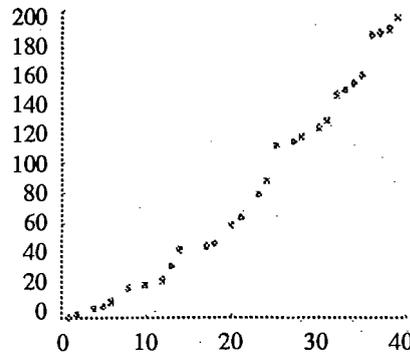
プロップ・ネットB32パソコン通信講座担当
安東直哉

この調査は、ふと、「みんなは、プロップ・ネットへ、どのような状態で通信をしているのか？」という個人的な興味で始まりました。

早速、1994年2月にプロップ・ネット上でアナウンスしたところ、B1「フリートーク」、B32「通信講座」、プロフィール、およびメールなどを通じて、延べ28名の方が回答を寄せてくださいました。どうも、ご協力ありがとうございました。

では、アンケート結果を順に見ていきます。前半ではパソコンについて、後半ではモデムについて、と分けてまとめてあります。今後、パソコン通信を始めたいが、どのような構成にしたらよいか判らないといった方の参考にしていただきたいと思います。また、筆者の独断と偏見によるコメントをつけておきましたので、こちらも併せてご覧ください。

ID番号による会員増加率

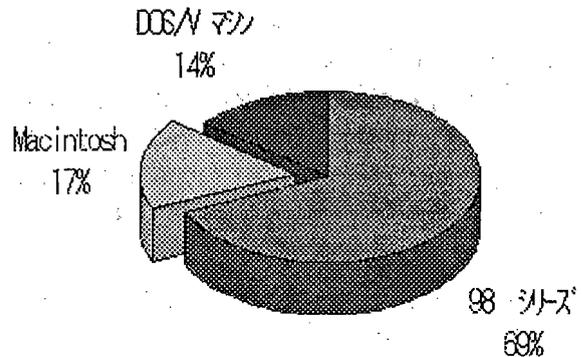


パソコン本体

●アーキテクチャ

やはりというべきか、98シリーズが7割を占めました。ここでの98シリーズとは、PC-9801とPC-9821、そしてEPSON (PC-286, PC-386, PC-486) を含みます。また、Macintoshシリーズが17%しかないのは、セミナーでの人気を考えると少々、少ない気がします。

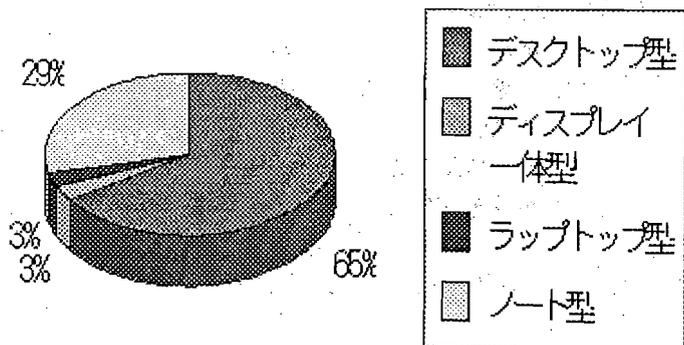
メーカー別のシェア



●本体の形状

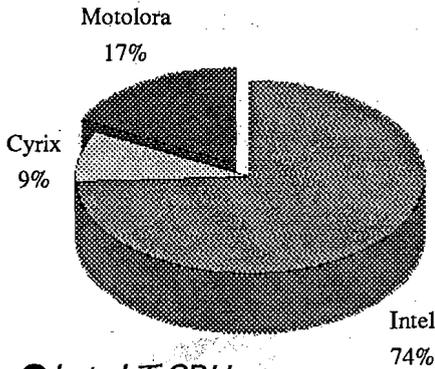
ほとんどがデスクトップ型と想像していたのですが、実際は、日本の住宅事情を反映してか、意外と省スペース型のノート型、ラップトップ型が多いのに驚かされました。なお、ディスプレイ一体型というのは、鉄仮面とも言われる、本体とディスプレイが1つになったもので、Macintoshシリーズに多いタイプです。

本体の形状



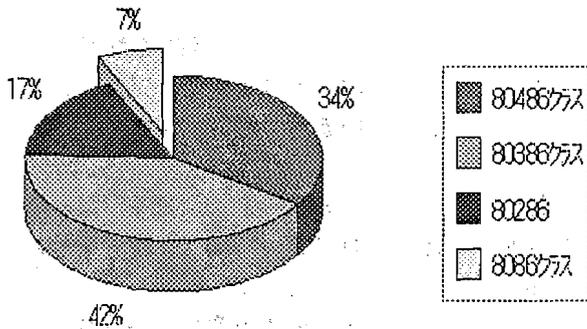
●CPU

やはり、Intel系が圧倒的に多いことが判ります。また、同じIntel系のCyrixのCPUに載せ替えている強者が1割近くもいます。



●Intel系CPU

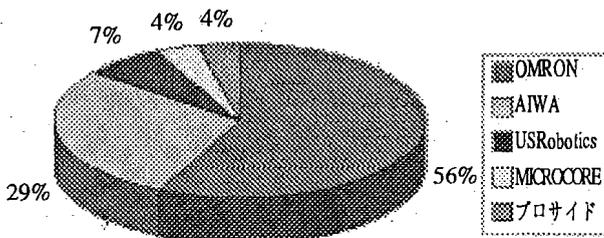
このIntel系には、Cyrix製のCPUを含みます。16bitマシンが、8086クラスと80286とを合わせると、1/4にもなり、結構、健闘しているのが判ります。32bitマシンについては、今のところ、80386マシンの方が、80486マシンより8%多いですが、逆転の日も近いかもしれません。



モデム

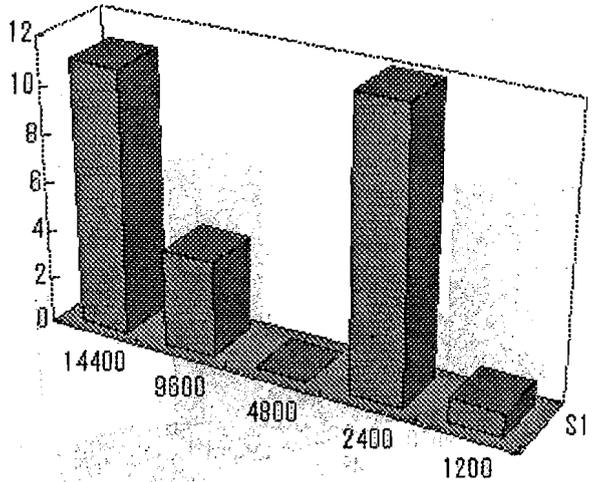
●メーカー

御無論とも称されるOMRONが過半数を占め、口コミの威力を感じました。他方、哀話な話も聞かれるAIWAも、3割と健闘しています。



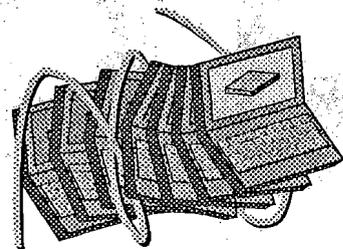
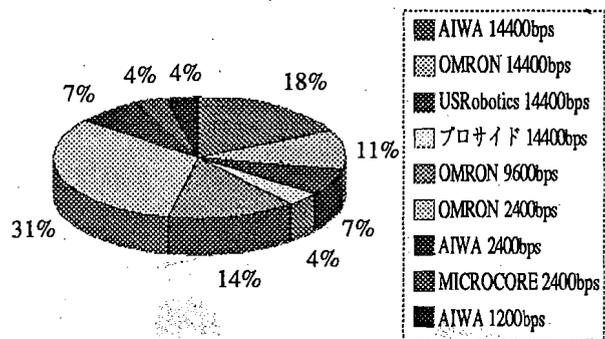
●モデムの最高速度

プロップ・ネットにはお金持ちが多いのか（実際、お金持ちのすずきさんのように「お金持ち」が頭に付けて呼ばれる方が多数おられます）、高速なモデムである14400bpsまで出るモデムの持ち主が多いのが判ります。これからモデムを買う場合は、この14400bpsのものにしておくことをお勧めします。しかし、台数ベースでは、2400bpsの方が14400bpsよりも多く、まだまだ健闘しています。



●モデムの最高速度とメーカー

モデムの最高速度とメーカーの関係をもう少し詳しく見てみます。OMRONが強いのは、2400bpsと9600bpsであり、9600bpsは、まさにOMRONの独壇場どくだんじょうとなっています。そのOMRONも、14400bpsとなると苦戦を強いられています。

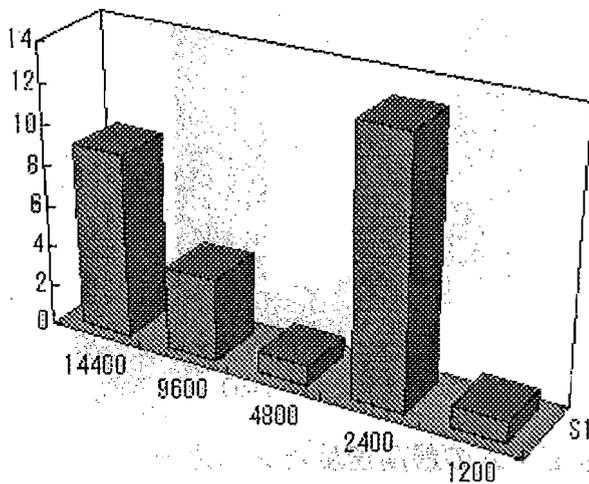


● モデムーモデム間速度

せっかくの14400bpsというモデムの高速な性能を活かせない人が2人おられました。お一人は回線が古いためとのことでした。もう一方は不明です。

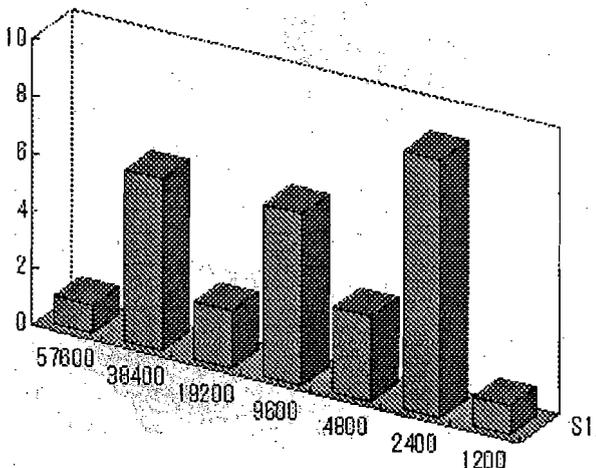
*** 突然ですがここで宣伝です***

もし判らないことがありましたら、プロップ・ネットB32「通信講座」で質問するとよいでしょう。通信のパイオニア達が親切に教えてくれます。



● モデムーパソコン間速度

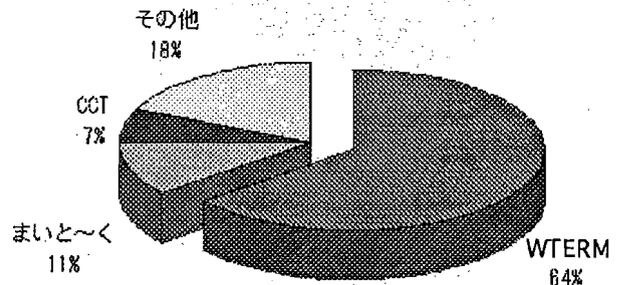
モデムーモデム間速度と、モデムーパソコン間速度の違いが判らない方がおられました。これに関しては、モデムーモデム間速度と同じであるとみなしました。



● 通信ソフト

一人しか使っていないものは、その他にまとめました。最も有名なフリーウェアの中の1つである「WTERM」が圧倒的な人気を誇っています。変わったものとして、Mac用プロップ・ネット専用の「もかたむ 1994.02」(mochaさん作)があります。

ということで、今回のがんばったで賞は、この「もかたむ 1994.02」に進呈したいと思います。おめでとうございます。



以上、その昔、ザ・BASICに連載されていた「ザベ・データ倶楽部」を目指して、プロップ・ネットへ参加されている方の通信環境を見てきたわけですが、いかがでしたでしょうか。

今回は、通信している本人の状況までは踏み込めませんでした。これについてはまた機会を改めてレポートしたいと思います。

では、このレポートに関する意見・感想などございましたら、プロップ・ネットのB32「通信講座」までお寄せください。お待ちしております。

筆者紹介

安東 直哉 (あんど う なおや)

現在、某外資系コンピュータ・メーカーに勤務するかたわら、プロップ・ネットに、あ〜ん (PRP065) というハンドル・ネームで参加している。だけではなく、いつの間にやら、B32「通信講座」のボード・オペを務めるはめに。その他、毎週、行われている98セミナーにも顔を出している。なお、障害名は二分脊椎症であり、移動には車イスと杖とを使い分けている。

風流

京愛の俳句コーナー

石田京愛

このコーナーも皆さんのお陰をもちまして、一年を迎えることができました。思えば、プロップ・ステーションに参加して、いきなりFLANKERにページをいただけるという幸運に恵まれ、自分の力もわきまえずに、引き受けさせていただきました。皆さんに楽しんでいただけるよう、僕なりに心を込めて、書いているつもりです。これからもお引き立てのほど、よろしく願い致します。

二月十五日に奈良県の興福寺へ行ってきました。興福寺には釈迦おぼんずの涅槃図が安置されています。陰暦のこの日は、釈迦おぼんずの入滅した日おぼんずで、涅槃図を拝観するのが目的でした。当日は大変冷たく、はく息も白さがいつにも増して、目立っていました。奈良といえは鹿。鹿も心なしか、寒さに震えていたようです。では、お楽しみ下さい。

□冬の顔

三月さんがつや我はこの世に生きてをり
 ・ひとりぼっちになつたよう・・・

窓の中夜の電車の冬の顔

・窓に映る顔は冬に囚われて。

□恋

三月さんがつの遠くに船の見えるをり
 ・君は美しすぎて・・・
 あてどなくあてどもなしに春の街
 ・恋はもう・・・

□興福寺

涅槃図ねはんずの間の畳たたみは白し友の居る
 ・涅槃図のま間は静かです。

涅槃図ねはんずや不随意運動我がかひな

・涅槃図の前に僕が居ます。

□春

膝がしらすすがすがしくて吉野咲く
 ・スニーカーは軽やかに。

花の道見知らぬ翁おきな会釈して

・微笑みを返して、晴れやかな気分。

日脚ひあし伸ぶ女の指は細かりき

・こまやかで、優しく・・・

クマさんの

コンピュータ作曲入門

自分の音楽を作ってみよう VOL.2

前回は、自分の気に入ったメロディーを思い付いたら、ラジカセでもなんでもいいから、録音しちゃおう、というところで終わりました。今回はその続きです。音楽は決して難しいものではない、ということを忘れないで下さい。では…スタート→→→→→!

テープに録音した自分の歌を再生してみてください。ちっとも上手じゃないから、聞くのが嫌だ、ですって?そんなことはないはずです。自分の気に入った、そしてそれだからこそ口ずさんでいたものなのです。こういうのは大事に扱わなければいけません。

それはともかく、自分の歌のメロディーに注目して下さい。何回も聴いているうちに、何か「流れ」のようなものが判るはず。そうなったらしめたもの、早速、簡単な楽譜を書いてみましょう。楽譜なんて今まで縁がなかったから、書けないですって?そんなことはありません。ここでいう楽譜は、市販されているようなきちんとしたものではないのですから。あくまでもメモなのです。

ひとつのプログラムを開発する時に、使用目的、便利なツール等のメモをしてからプログラムチャートを書き、そして紙の上でのプログラムを

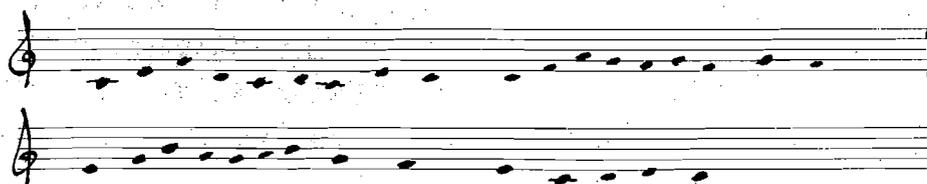
書いてみる・・・というのが普通ですネ。音楽でもそれと同じです。まず、紙の上での作業が始まります。

で、自分の録音したテープを何回も何回も聴きなおして、どんな音を使っているのかを確認します。それを五線紙の上に黒い点でプロットしていきます。ひとつおりの作業が終わった時点で、その五線紙を眺めて見て下さい。点をつないでいくと、山並みのように見えます。もちろん、ここで厳密なものができるのであればそれにこしたことはないのですが、とりあえずは曖昧なままでも構いません。

点をプロットする時に、点と点の間をあまりつめないようにして下さい。図1にあるように、適度に間隔を開けてやったほうが、あとの作業に便利になります。〈図1参照〉

続いては、その切れ目のない点の連なりを区切ることです。ここでひとつ、非常に重要なことがあります。それは、全体の小節数が4の倍数になるようにすることです。世界的にヒットした音楽は、ほとんど4の倍数小節で曲ができ上がっているのです。こういうふう、4の倍数小節で曲を作ると、まず第一に、ノリがよくなってきます。

〈図1〉リズムとか譜割り(注)を念頭にいれておくとBETTER。そうすることで次の作業である小節線を入れるときにやりやすい。



(注) 小節の中の音がどのように配置されているか、ということ。リズムが複雑にからんだメロディーは、「譜割りが難しい」という。



上、〈図2〉注意点は図1と同じ 下、〈図3〉音符の種類を確認しておく。全音符=2分音符×2=4分音符×4というように。また、付点音符など複雑な表示方法も自分の知識の確認をしておく、今後の作業がはかどる。中学の音楽の教科書をもう一度読み直してみるのもひとつの方法だろう。

更には、全体がまとまった感じを与えてくれるのです。できれば、全体の数がさらに8の倍数になっていることが望ましいと言えます。そうすることで、いわゆる起承転結がはっきりして、聞き手に安心感を与えるようになるのです。〈図1〉では、私は〈図2〉のように分けてみました。

確認。でき上がった曲の元（決して「味の素」ではありません）の小節数は、きちんと4小節区切りになっていますか？4小節で必ず区切らなければならないという訳ではないのですが、後で音楽の体裁を整えるのに、非常に楽になりますので、この方法を使っているだけなのです。もちろん、ビートルズの「イエスタデイ」なんかのように、7+7+8+7という小節の構成でも構いません。スタイルは自由なんです。

続いて、この分けた五線紙（決してハサミで切ってしまうわないでください）の上のメロディーに表情をつけていくことにします。つまり、それぞれの音符の長さを決めていきます。

ここでひとつ大切な事があります。ふつう音楽を演奏したり歌ったりする時にはドレミ…とやっていくのですが、コンピューターで音楽を作るときには絶対音で表示するのが普通なのです。つまり、ハ長調の場合は、

階名	ド	レ	ミ	ファ	ソ	ラ	シ	ド
音名	C	D	E	F	G	A	B	C

のようになります。ここで私達が使うのは下の欄のCDE…の記号のほうを主にするというのを覚えておいて下さい（注）。

（注）和音（コード）などもこのABCの記号を使って記されています。また、パソコンソフトのデータ打ち込みにも記号で行う訳ですが解りやすいように、それぞれの音に対応した記号が使われています。

さて、私が作った〈図1〉の楽譜は〈図2〉のようになりました。そこでそれぞれの音の長さを決めると〈図3〉のようになります。勿論、この通りにする必要もありません。自分の好きなように決めていけばいいのです。

その次には大きな問題が出てきます。つまり、でき上がった楽譜に和音を付けていく、という作業です。

和音を付けることは、ひいてはそのメロディーに色々な味付けをすることになるのです。また、別の面から見ると、素材をしっかりしたものになることになります。後者は、じつはこの後で出て来るアレンジ（編曲）を考慮にいたった場合を想定しています。

このあたりで、この曲の全体の構成を考えておく必要があります。パソコン風に言えば、プログラムチャートを書く、ということになります。実際、音楽のほとんどの作業は、もちろんきちんと音楽を勉強して作曲する人にとって、紙の上の作業がほとんどなのです。全体のスケッチをして、ブロック毎の構成を決め、更に全体の統一感はどうにして持たせるか…これを全部、紙の上で行う訳です。素人にとっては、このようなことは